

【2019年度 看護職員の負担軽減及び処遇改善に関する当院の取り組み】

当院では、看護職員の負担軽減及び処遇改善について、次のようなことに取り組んでおります。

患者さまやご家族の皆さまには、ご理解をよろしくお願い申し上げます。

日高病院 院長 関原哲夫

項目	現状	2018年度計画	2018年度実施・評価	2019年度の計画・実施
業務量の調整	病棟看護師の業務量が多い	変則2交代制導入(2017年)後の各勤務帯の現状を分析する	変則2交代制導入後の各勤務帯の現状をアンケート実施(3月)	①残業時間の調査と対策の検討 ②アンケート結果の分析と対策の検討
		業務量に見合った人員配置や応援体制を整える	変則2交代制勤務や看護方式のアンケート実施	①看護師のリリーフ体制の構築 ②看護方式の検討
	医療・看護必要度の監査に時間がかかる	監査方法の検討	重症度、医療・看護必要度の評価方法の調査と検討	重症度、医療・看護必要度の評価方法をⅠからⅡへ変更
看護職員と他職種との業務分担	病棟看護師の入院に関わる事務的業務が多い	—	—	患者サポートセンターの新設 ①入院目的や必要書類の説明 ②薬剤師、管理栄養士、ソーシャルワーカーからの入院前の説明の充実 ③入院病棟への案内
		病棟の窓口の対応策を検討する	—	病棟クラークの配置 ①病棟の窓口対応 ②電話対応
	持参薬や定期薬の配薬に関する業務が煩雑である	配薬カートを各病棟に配置する	配薬カートを各病棟に設置した	継続
	入院患者様の必要物品のセットの提供ができていない	入院中のパジャマ等のレンタルセットを導入する(委託業者)	入院中の患者様の必要物品をセットで提供できるサービスを検討する	入院中必要な物品セット提供サービスの計画
看護補助者の配置	看護補助者の増員ができない	現状に応じた看護補助者の配置	採用にむけての広報活動を実施する	継続
多様な勤務形態の導入	勤務と生活の両立ができない	非常勤スタッフの雇用	非常勤スタッフの雇用拡大	継続
妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮	夜勤が負担	育児休暇明けの夜勤免除を説明する	育児休暇明けの夜勤免除を説明し実施する	継続
	負担の少ない所属への異動	希望所属部署への異動をする	希望所属部署への異動をする	継続
	育児短縮時間	育児短縮時間で帰宅できるように業務を調整する	育児短縮時間で帰宅できるように業務を調整する	継続
夜勤における看護職員の負担軽減	夜勤可能な看護師が少ない	夜勤体制変更後の業務の調査と改善をする	夜勤体制変更後の業務量調査を実施した→アンケート調査	夜勤体制に関しての今後の対策を検討し、業務改善する
		新卒・既卒の入職看護師の育成をする	—	新人の進捗状況を再評価し個人にあった目標を再設定する
	新卒看護師の入職が少ない	—	—	実習受け入れ体制の整備をする ①実習指導に関わる委員会の設置 ②実習生の実習環境に関するご意見をヒアリングをする
	有給休暇取得について個人差があった	—	—	計画的に全看護職員がリフレッシュ休暇を取得できるようにする